

①食の安心安全

# お母さんよんでね!

口にはいるものは まちがってはいけない



さく / 秋川 実 (株式会社秋川牧園 代表取締役会長)

え / 西本 葉子 (食育指導士)

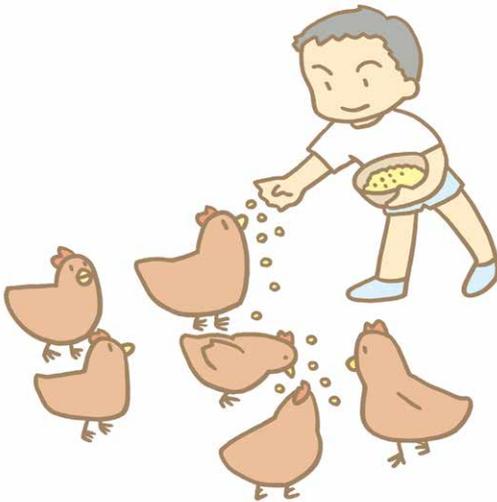




これは、私が幼い頃、父からよく聞いた言葉です。私の父は、いつも食べる人のことを考えるすばらしい農業者でした。70年前に聞いた、この大切な教えが、[秋川牧園](#)のルーツになりました。

## 秋川実少年

「大きくなったら  
必ず農業をしよう。」



小学6年生の時、はじめて鶏を飼いました。これが私と鶏の出会いの始まりです。大きくなってからは品種改良に没頭し、国産鶏の改良に青春の全てをかけました。

## 秋川少年奮闘記

父は理想の農園の夢を叶えましたが、敗戦により、海外で一時、音信途絶となりました。長男だった私は、母と兄弟を飢えから守るため、農業との苦闘が始まりました。幼い私に農業を教えてくれたのは、山口の祖母です。

奇跡的に父が帰って来てからは、親子兄弟姉妹で荒れた田畑をいっしょに耕し、農業に没頭していくこととなります。

真夜中に、水田の中で手さぐりし、稲とまちがわないように稗ヒライを抜き取ります。この手さぐりで取った稗の本数は、たぶん世界記録じゃないかと思っています（笑）。

こんなに貧乏することはないと言うくらいの苦勞もありましたが、今では全てがいい思い出です。



秋川実 40才

「安心安全な

食べ物づくりに

挑戦しよう。」



古い養鶏場 廃墟の中からの再出発…

1972年、今から約40年前のこと。日本の国産鶏は、海外からやってきた外国鶏によって壊滅状態になり、国産鶏の品種改良に携わっていた私は、その全てを失うこととなります。古い養鶏場を前に、家族4人で立ちつくした夏の日。その時、私の中で新たな決意が生まれました。

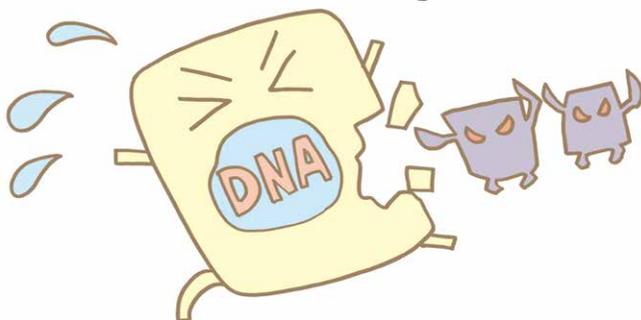
今なぜ  
ガンは  
増えたのでしょうか？



「平成21年 人口動態調査」より

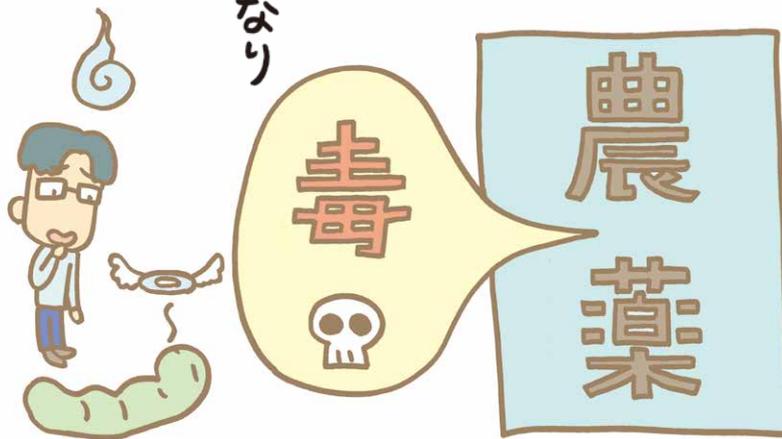
今、ガンで亡くなる方は3人に1人の時代です。ガンは、細胞の中の遺伝子が傷ついて、健康な細胞がガン細胞に変わり、無限に増殖する恐ろしい病気です。

# 過酸化物質は 遺伝子を傷付ける



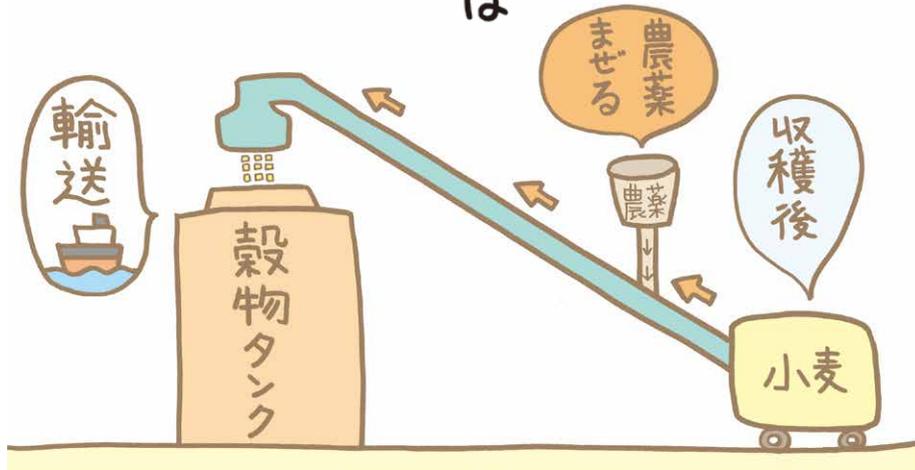
農薬や添加物などの化学物質が体内に入りこんだり、紫外線・放射能などの影響をたくさん受けていたりすると、私たちの体の中には過酸化物質というものが生まれます。この過酸化物質は細胞を破って中の遺伝子を傷つけて、それがガンにつながるのです。

曲農薬とは  
曲農毒薬のことなり



虫という生き物を殺すのが農薬。同じ生き物であるのに、人間だけ大丈夫ということはないのです。

あなたのパンは  
大丈夫？

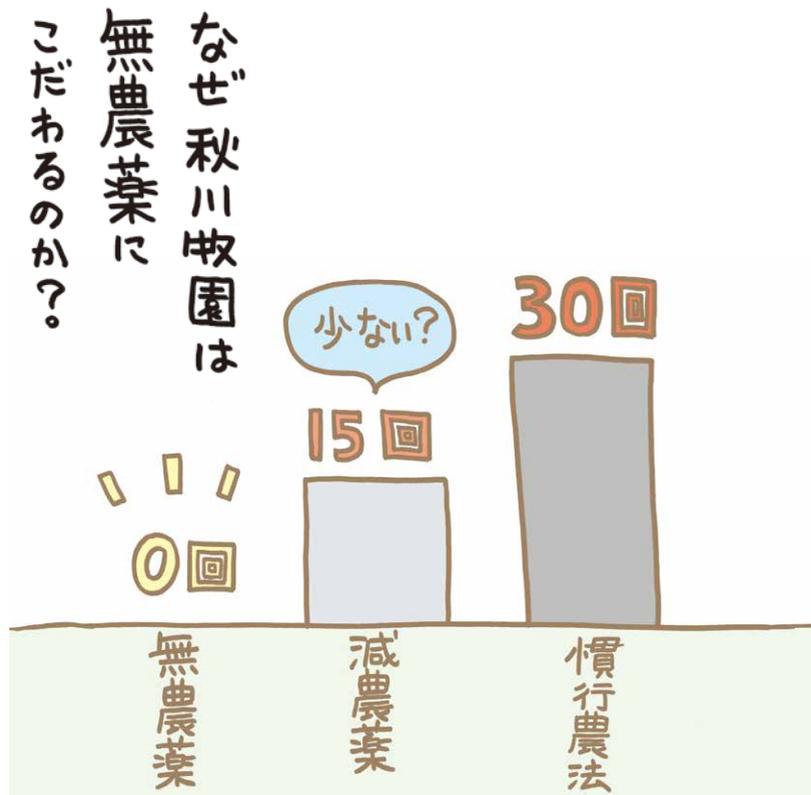


外国から船に乗って運ばれてくる小麦粉やトウモロコシ。輸入穀物は保管中の虫食いなどを防ぐために、収穫後に大量の農薬(殺虫剤)が混ぜられます。(ポストハーベスト農薬) 収穫後の農薬なので、その多くが食品に残ります。

化学合成された  
添加物は  
地球の異物

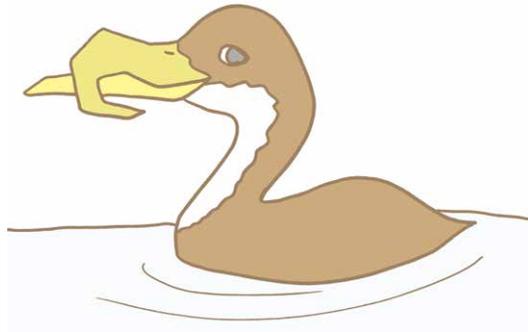


今の日本人は、平均して1日に60種類も食品添加物を食べています。一度許可された添加物が、後で使用禁止となったものもたくさんあり、許可されていても安全とは言い切れません。



減農薬栽培とは農薬の散布回数を慣行農法の1/2以下にしたもの。となると、例えば慣行農法で30回農薬散布するものが基準になっている野菜では、農薬を15回散布しても、減農薬ということになってしまいます。

曲がった  
水鳥のくちばし



DDTという農薬を發明して、スイスのムーア博士はノーベル賞を受賞しましたが、この農薬は後に恐ろしい環境破壊をもたらすことがわかりました。  
DDTなど、有機塩素系の農薬は、農地に一度まかれると自然に消えることがなく、**食物連鎖により生体濃縮**を起こすことがわかったのです。

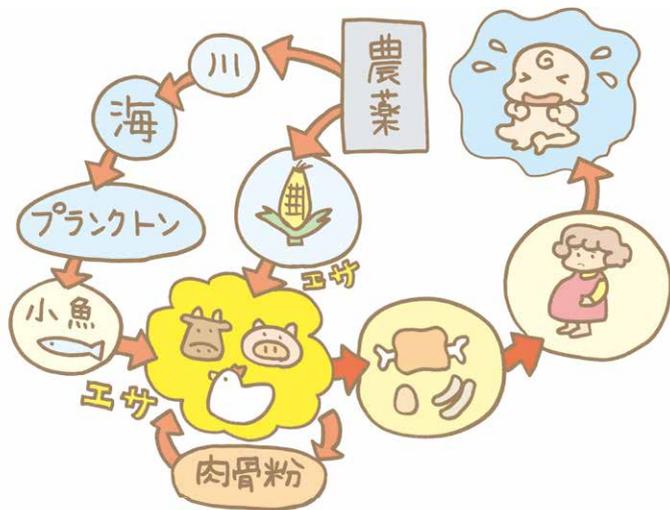
食物連鎖の  
最後は人間です。

人が作った異物は  
人の体を墓地とします。



自然界で分解されないものほど恐ろしいものはありません。人が作った毒は、めぐりめぐって、人間に返って来ます。

# くり返さない 生体濃縮の悲劇



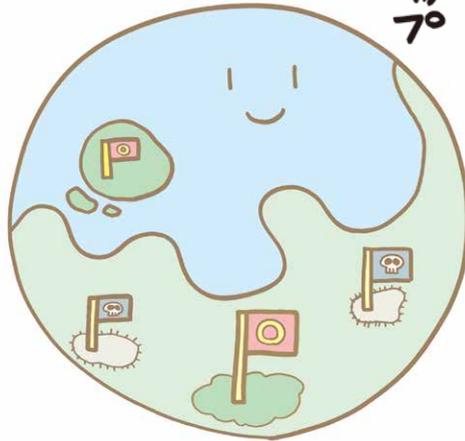
秋川牧園が家畜のえさにまで、安心安全を追求する理由はここにあります。

# 秋川牧園のプロジェクトX

「世界

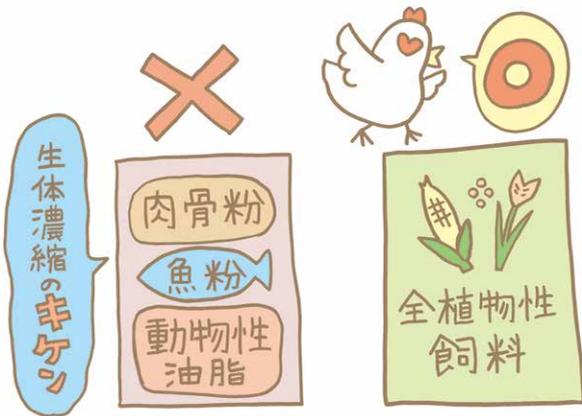
農業汚染マップ

をつくる!!」



生体濃縮する農薬は、有機塩素系農薬がその主体となります。(DDT、BHC、ダイルドリンなど)一度、農地にまくと半永久的に消えず、毎年少しずつ農作物の中に出てきて、最終的には人体に濃縮する運命を持っています。秋川牧園では毎年、世界の農地の残留農薬の分析を続け、世界農業汚染マップを作りました。

「世界初の  
全植物性飼料  
を実現!!」



鶏は動物性のエサを好みます。また、今までの鶏の栄養学の面でも、鶏には動物性タンパクが是非必要だと言われて、魚粉や肉骨粉などが必ず使われてきました。しかし、DDTなど有機塩素系農薬は、生体濃縮する魚・畜肉・脂肪などにより多く含まれます。秋川牧園ではこの難題を解決するため、世界的にも不可能と言われた全植物性飼料で鶏を飼育することに成功しました。

# 狂牛病の悲劇 はなぜ？



牛は何百万年もの昔、その祖先が誕生して以来、草を食べてきて、肉を食べたことはありませんでした。人間は身勝手に、少しでも早く太らせようと、牛に肉骨粉を食べさせました。そのせいで、牛はおかしくなって死んでしまいました。やがて、その肉を食べた人間も、同じようにおかしくなりました。食べるものは、間違えてはならないのです。

# ダイオキシン どちらが心配？



世界最強の発ガン性物質・ダイオキシンも、食べ物から。

たとえ焼却場の近くに住んでいても、食べ物の安全に気をつけていたら、健康を守ることができます。反対に、空気のきれいなアルプスの小屋に住んだとしても、もし食べ物が汚染されていたら健康は守られないのです。

# 環境ホルモンの問題は 人類への警告告です



環境ホルモンという言葉を知っていますか？ある化学物質が私たちの体の中に入ると、ホルモンをおかしくして、オスがメスのようになってしまいます。こうした化学物質をまとめて、環境ホルモンと呼びます。農薬などで川に環境ホルモンが流れ出ると、魚のオスがメスになるという、おかしなことが起こりました。こうした問題も、人間に及んでいると思えてなりません。

# 遺伝子組み換え食品の

# 危険なワナ

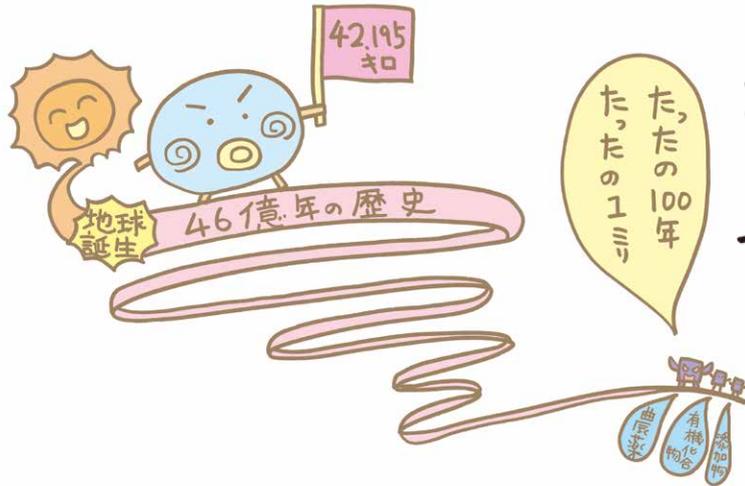


科学技術はとうとう、遺伝子を自由に組み換えるまでになりました。遺伝子組み換えで、虫が食べたら死んでしまうトウモロコシ。このトウモロコシには、虫を殺す毒素を出す遺伝子が組みこまれているのです。人も虫も、同じ生き物。この殺虫性トウモロコシは、人に本当に安全なのでしょうか。

地球の46億年の歴史を  
42・195kmにたとえたら

科学の歴史は

たったの1mmもありません



地球が誕生してから46億年。人類が生まれて300万年。人が農薬や添加物などの有機化学合成を始めたのは、わずか100年前のこと。「人は刹那の知恵に溺れず、自然に対して謙虚でありたい。」



同じ「種」<sup>しゅ</sup>でないと子どもはできない。これは46億年の地球の掟です。人間の都合で、この「命の掟」を破るのが遺伝子組み換えです。

人の知恵は  
大事だけれども

人類はもっと

謙虚に生きたい…



人類は科学の名のもとに、農薬や、添加物など、多くの有機化学物質を合成し、ずっと後になってその多くの過ちに気づきました。今回の原発事故も、また、同じ過ちのように思えてなりません。

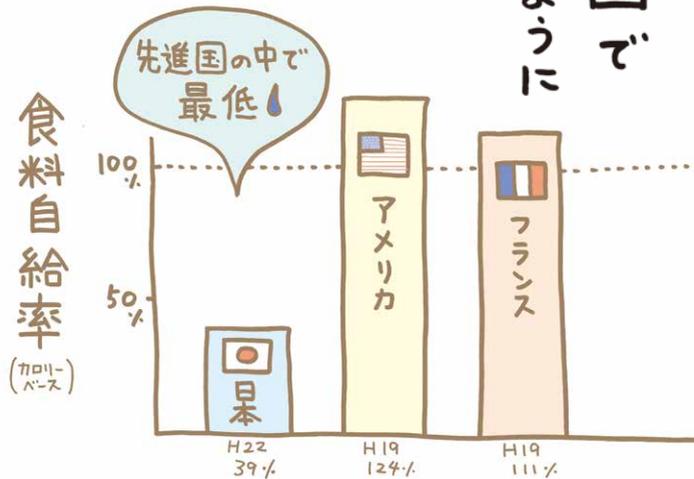
バイオエタノール

食料を燃料にする  
ズレた感覚



ここ数年間、石油が高くなったため、代替りの燃料としてトウモロコシやサトウキビを使ったバイオエタノールがたくさん作られるようになりました。そのために、トウモロコシ・小麦・大豆などの値段が高騰しました。このままでは食べ物が食べられなくて死んでしまう人たちが増えていきます。やはり食べ物を燃料にするのは、どこかおかしい気がします。

まず  
自分たちの国で  
食べられるように  
なろう



自分たちの国の食べ物を自分たちでどれくらい作っているのか。それをあらわしたものが食料自給率です。アメリカやフランスなど先進国でも、100%をこえています。日本は、今40%くらいしかありません。日本は先進国の中で最低。安心安全な食べ物を守っていかうと思ったら、自分の国、自分の地域で作るのが一番です。

食べ物は国産!!

食の信頼は  
距離に反比例する



外国から輸入される食べ物に多くの不祥事が続きました。これは誰が食べるのか分からないまま作る、その仕組みに問題があるのです。

「食べる人の顔が見える」私たちの農業の、安心安全の源がここにあります。

# 工サも国産!!

飼料米で

新しい地域循環



日本では、減反により荒れた田畑が増えました。田んぼにはお米を作るほかに、洪水を防いだり、カエルなどたくさんの生き物の住みかとなる役割もありました。

秋川牧園では、飼料米作りに取り組み、田んぼがよみがえることで、環境改善や国内自給率の向上につなげていこうと考えています。

# 自分の食を 託すところを 決める



普通のお店では、安心安全な食べ物を売ろうとしても売れ残りが出て、そのロスのため価格が高くなり、成り立ちません。ロスを減らし、そのぶん買いやすい価格にしていくためには、**計画生産**できる**定期的な注文**が必要です。これが**生協産直**や、**会員制宅配**の**仕組み**です。

あなたの畑  
あなたの牧場が  
そこにある



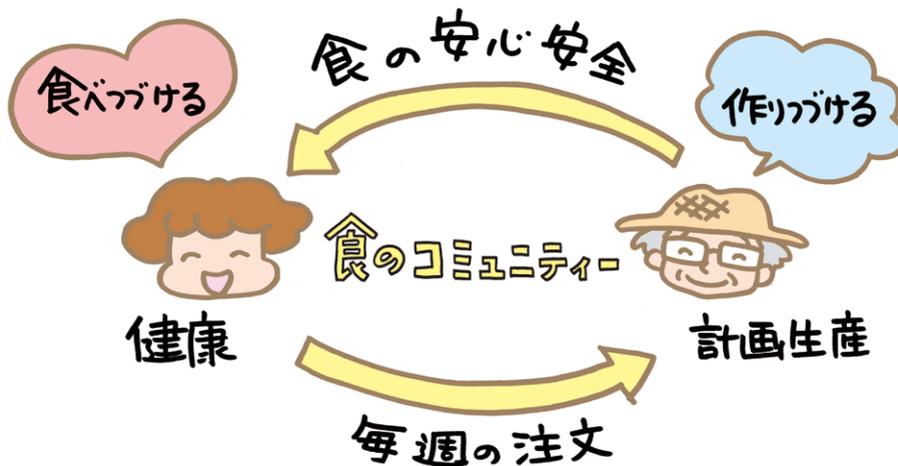
一番安心な食べ物は、**自給自足で自分が作ること**。しかし、都会には畑もないし、肉や卵や牛乳など食べ物を全て自分で作ることは不可能です。自分たちに代わって、安心安全な食べ物を作ってくれる・・・あなたの畑、あなたの牧場がそこにある、それが秋川牧園です。

## 生産者と消費者の 提携の意味



安心安全な食べ物を守るためには、一人の生産者に対して多数の消費者が必要です。  
これを叶えるため、同じ願いを持つ消費者と生産者をつなぐ「コミュニティ」がぜひとも  
必要になってきます。

続けることが  
力になる



安心安全な食べ物は、一般のものより手間や時間がかかるため、どうしても高くなってしまいます。そこでまず、**安心安全な食のコミュニティ**に参加し、継続して食べましょう！そのことが計画生産につながり、コストをおさえ、安心安全な食べ物を買やすい価格で求めることにつながります。

ほんとうに  
おいしいものは  
安全である

安全なものは  
おいしい



人類はそもそも、「おいしいものを食べること」がそのまま「安全なものを食べること」につながっていました。一方、文明の発達の中で人の本能も退化し、有害な物でも欲しくなる間違いも始まりました。本当のおいしさ、本当の安全を大切にしましょう。

ありがとう

いただきます





さく：秋川 実

健康でありたいと願わない人はいないでしょう。

しかし、健康であるために、どのような食べ物を、どのように選び、どれだけを食べるのがよいのか・残念ながら、多くの人々が、まだ、疎いのがその実情です。今、テレビ番組等でも食べ物について取り上げられることが多くなりましたが、それも、なかなか身につかない人が多いようです。私は、農業を始めてから約70年、食の安心、安全、そして健康のための食べ方を追求して、今の秋川牧園を創業して、40年以上を体験しました。健康と食べ物、健康と食べ方には、地球に命が誕生してからの38億年の摂理があります。その摂理が理解された時、食と健康のことが、体の中にスッと入るのです。誰もが分かりやすく納得できて、その喜びをみんなに伝えたい・そんな絵本ができたなら・と思って取り組みました。親しみやすい挿絵と物語からは、西本葉子さんの健康に対する楽しさと、真心が伝わってきます。安全な食べ物のお値段は、少しは高くなりますが、栄養当たりの値段を考えて工夫することで、誰もが食べられるものになります。食べ物と健康の喜びが、多くの皆さんに伝わることを楽しみにしています。

2012年3月

<プロフィール>

1932年生まれ。幼少の時、父 房太郎の経営する中国の秋川農園に育つ。  
小学6年生から農業に従事し、戦後の日本で苦学の中、農業の有り方を追求した。  
1972年、食の安心安全を目指し、一人の生産者としてはじめ、現、秋川牧園を創業。  
現在は、(株)秋川牧園の代表取締役会長。

2012年4月28日発行

監修 秋川 実  
発行人 小松 義彦  
発行所 東洋図書出版株式会社 西部本社  
〒747-0849 山口県防府市仁井令一丁目21-55  
TEL.0835-25-1528 FAX.0835-26-2154  
イラスト 西本 葉子

編集制作 株式会社秋川牧園 大村印刷株式会社  
印刷・製本 大村印刷株式会社

Printed in Japan

定価は裏表紙に表示してあります。

本書の無断転写(コピー)は、著作権法上の例外を除き、著作権侵害となります。  
ISBN 978-4-88598-023-7



え：うっきー ☆ にいとようこ

みなさん こんにちは！うっきーです。  
毎日のごはんて命はできています。  
だから 食べることを大切に。自然を大切に思う。命を大切に。そんな思いが つながって いくことを願っています。さいごまで 読んで 頂き ありがとうございます。

<プロフィール>

食育指導士 食生活アドバイザー 2児の母  
2009年10月「やまぐち食育くらぶ」を発足。  
代表を務める。  
年2回(6月・12月)食育情報誌を編集、2万部を  
発行し、山口市・防府市・宇部市の幼稚園・保育園  
に無料配布を実施。  
食育指導士として山口県内で講演活動を行う。



9784885980237

ISBN978-4-88598-023-7  
C0761 ¥800E



1920761008000

定価： 本体 800円 + 税

東洋図書出版株式会社